

四季の雑草 ー春(2020年5月)秋田県ー

<本観察に関連する学校での学習>

- ・小学校1年・2年(生活)の単元「季節の変化と生活」、
小学校3年(理科)の単元「身の回りの生物と環境との関わり」で、
多くの種類の雑草が、観察やあそびの対象として、写真や絵で示されている。
- ・中学校(理科)の単元「生物の観察」で、
多くの種類の雑草が、観察の対象として、写真や絵で示されている。

<本実験の特徴>

- ・雑草の名前と形・色の特徴を、季節毎の写真で知ることができる。



本日(2020年5月3日)は、
秋田県立大学生物資源科学部附属
フィールド教育研究センターの
畑とその畦畔(けいはん)に生える
雑草を見る。



・イネの育苗ハウスのなかでは、
苗が育っている。



オオムギ

- ・写真の矢印に沿って歩き、そこに生えている雑草を観察する。
(左側に穂を出したオオムギが見える)



雌薬(しずい)
雄薬(ゆうずい)

花弁(かべん)

萼(がく)

ナズナ(アブラナ科)

白色の花弁をつける。

果実(かじつ)の形は三角で、
三味線(しゃみせん)に似る。



セイヨウタンポポ(キク科)

花茎(かけい)の上に黄色い花をつける。



セイヨウタンポポの花(左)は、たくさんの花(右)が集まってできている。



外側の花



中央部の花





ホトケノザ(シソ科)

半円形の葉の葉腋(ようえき)に紅色の花をつける。
茎は四角形で紫色をおびる。



オオバコ(オオバコ科)

地面に張り付くように葉を広げている。



カラスノエンドウ(マメ科)

ヤハズエンドウとも呼ばれる。

蔓性(つるせい)の植物で、写真ではコムギにからみついている。

花弁は赤紫色。



花

葉

莖



スズメノカタビラ(イネ科)

葉は線形でなめらか。
たくさんの穂が出ている。

本日見た雑草(下表の黄色ハイライト)

表 小学校(小1・2「生活」、小3～6「理科」、中学校「理科」および高校「生物基礎」・「生物」の観察・実験に用いられる雑草の使用回数*(合計4回以上).

種名	校種			合計
	小	中	高	
タンポポ	10	7	0	17
カラスノエンドウ	9	3	4	16
シロツメクサ	8	4	4	16
ナズナ	10	4	2	16
オオカナダモ	1	8	7	16
オオイヌノフグリ	8	4	0	12
ツユクサ	4	7	0	11
オオバコ	7	4	0	11
ハルジオン	6	3	0	9
スギナ	4	5	0	9
カタバミ	4	4	0	8
ホトケノザ	7	1	0	8
ハコベ	3	4	0	7
ヒメオドリコソウ	4	3	0	7
ゼニゴケ	0	7	0	7
ヒメジョオン	4	2	0	6
エノコログサ	5	0	0	5
オナモミ	5	0	0	5
ススキ	4	1	0	5
スズメノカタビラ	0	5	0	5
スズメノテッポウ	2	3	0	5
ハハコグサ	1	3	0	4
セイヨウタンポポ	2	2	0	4
ウキクサ	1	0	3	4
アオミドロ	4	0	0	4

*数値は、いずれの校種においても、4種類の教科書での使用回数の合計値。